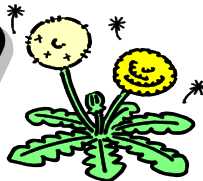


KAS

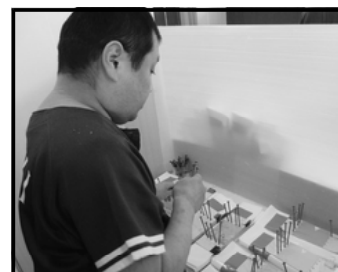
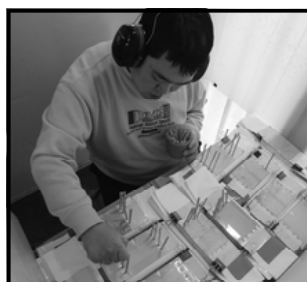
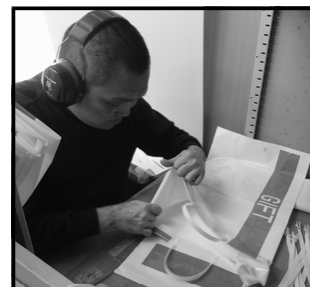
Cotton こっとな Up あっぷ

Vol. 94



～ショッピングバック組み立て作業～

それぞれが得意な工程を分担し行っています。みなさんいきいきと作業してます！！
(詳しくは紙面ににて)



目 次

- ・「東日本大震災」 理事長 佐藤哲也 《2 ページ》
- ・「W・D・S・N 17 (Watage Daily Support News)」
～ショッピングバックの組み立て作業を通して～ 《3 ～ 4 ページ》
- ・新任職員紹介 《5 ページ》
- ・「お～い！ ごとくーん！」 《6 ページ》
- ・ものもらくまるちらつく 《7 ページ》
- ・後援会のご案内・決算報告 《8 ページ》
- ・編集後記 (編集部) 《8 ページ》

発行人 神奈川県自閉症児・者親の会連合会
代表者 内田照雄 〒243-0035 厚木市愛甲910-1コープ野村6-109
(毎月1回15日発行) 購読料1部 50円

東日本大震災

理事長 佐藤哲也

この度の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された方々へ慎んでお見舞い申し上げます。

私たちはテレビ画面に映し出される大津波の映像に戦慄しました。尊い人間の営みや営々と築いた歴史が一瞬にして消滅する現実を目の当たりにし、言葉を失いました。また、その後に発生した福島第一原発事故は、国内はもとより原発を所有する世界の国々を震撼させました。人間は、超大災害に対してなすすべもないこと、未曾有、想定外のこと但实际上に起こりえるということを見せつけられました。

しかし大震災発生直後から、国内はもとより、海外からも物心両面で援助の輪が急速に広がっていったことは大変ありがたいことです。これから行方不明者の捜索はどうなるのか、原発事故はどのように収束するのか、被災地の復興はどうなるのか、正に日本の底力が試されます。私たちも自分たちができることで、精一杯協力していかなければならないと思わずにはいられません。

今回ほど「災害から命を守る」ことの大切さを感じたことはありません。災害から自らを守ることが困難な災害弱者の方々に対し、私たちは本当にその方々の「災害から命を守る」ことができるのか、という大きな課題を突き付けられた思いがします。

自閉症の子どもがいる被災者の方は、他の避難者に迷惑をかけるからと車中泊を続けているというニュース、また、薬も残り少なくなってきたという、悲痛な声が伝えられてきます。国の対策とは別に横須賀市が策定した「災害時要援護者プラン」はどうなっているのでしょうか、福祉避難所はどうなったのでしょうか、大変気になるところです。

大規模災害に対しては、自助、共助、公助と言われますが、大津波に対しては、自助、すなわち日頃の防災教育や咄嗟の判断、決断が決め手になることが今回証明されました。利用者の方が被災する時間帯の確率を1週間単位で見た場合、送迎を含めた施設利用の時間帯が約1/4、それ以外の時間帯が約3/4になります。このことから利用者にとって家族による自助がいかに重要なものになるかということが分かります。

法人では、「施設と家族間の災害時対応マニュアル」を作成し、ご家族へお配りしていますが、今回の大震災により、いろいろな面から見直しが必要になるものと思われます。三浦半島には何本もの活断層が走っており、直下型地震が想定されます。また、東海大地震の発生も想定され、海岸近くには多くの市民が住んでおり、原子力空母の母港を持つという地域の特殊性があります。

私たちは、かけがいのない命を守るため、生き残る知恵と対策を考えていかなければなりません。そのために法人として何をしなければならないのか、何ができるのかということに真剣に取り組んでいかなければならないと思っています。

「W・D・S・N 17(Watage Daily Support News)」

～ ショッピングバック組み立て作業をとおして ～

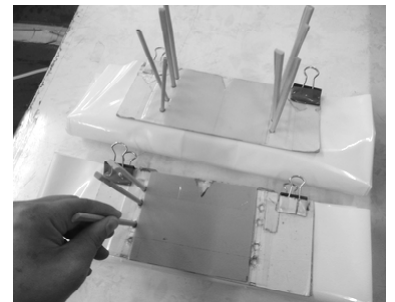
★はじめに

横須賀たんぽぽの郷では、仕事を通して地域に貢献し、成人として社会の役割を担う、生産的な日中活動を利用者に提供する事を基本に置いています。具体的には、賃金をいただき外部と提携し行う仕事と、家事活動や海岸清掃など、職場や家庭、地域で役割として行う活動です。現在、前者には、外部から受注をする作業と、浴場清掃のように現場にいき行うものがあります。受注作業で重要なことは、納期までに仕上げることに精度を保つ事です。そして何より、それらを利用者さんに行ってもらうことです。受注作業では最初から失敗は許されません。練習を重ね、時に失敗しながらうまくなるということが出来ません。確実な方法を提供しつつ、より多くの方が多くの手順を担えるように・・・受注作業の1つ、ショッピングバックの組み立て作業を通してお伝えします。

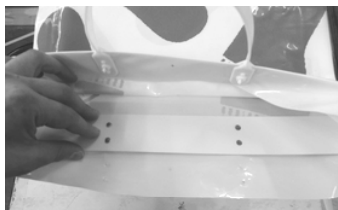
ショッピングバックは数種類あり、工程も異なりますが、基本的なものの手順とともに、どのように提供することで多くの方が携わることが出来たのかをご紹介します。

★定位置に穴を4つあける

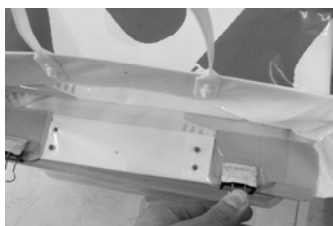
穴開け専用のポンチ器もあるのですが、扱いが難しい為、より多くの方に携わってもらえるようなジグを用意しました。写真のように、厚紙で作製したジグに袋を挟みこみ、穴の部分に割り箸の先を削ったものを挿し込む事で穴を開ける寸法です。決まったところに隙間なく挿し込むということが得意な方が、1日200枚～300枚とポンチ器にひけを取らないペースで行っています。



★取手を付ける



先程開けた穴に口板を合わせて、プラスチック製の凸凹をパチンと合わせて止める工程です。目や手触りなど感覚で行う方、机に貼り付けた突起に袋と口板の穴を通して揃え行う方などそれぞれです。自信を持って、効率良く作業を進められるよう、それぞれの方に合った道具を用意しました。



その一つとして、写真のように、突起に袋、口板、袋の順に穴を合わせて通しクリップで固定します。クリップにプラスチック製のシートのようなものがついているのには理由があり、袋を裏返す時に口板部分を強く持つ事で、口板にしわがついてしまうことを防ぐためです。他の手順はとても丁寧に出来ても紙製の材料にしわをつけてしまいがちな為に作業を控えていた方も、この道具を使用する

ことで、力の加減のコントロールに悩むことなく安心して行うことが出来るようになりました。

★ 底板を型付けし、形を整える

この工程の前段階として、底板と呼ばれるボール紙の板を袋に入れるという工程もあります。底板は、必ず1枚ずつ入れなければなりませんので、ボール紙の板を間違いなく1枚ずつ入れることが得意な方がこの工程を受け持ちます。そして別の方が、中に入っている底板を使って、型付けをするのです。

型付けという工程は、底板が袋の底に定着するよう、袋に底板の形を折ってつける工程です。底板は袋の底に軽く押しつけるようにすることで形が整えやすくなります。均一に底板を底に押しつける事が出来るように、写真のような持ち手の付いたプラスチック製のシートを用意することで仕上がりの精度があがりました。



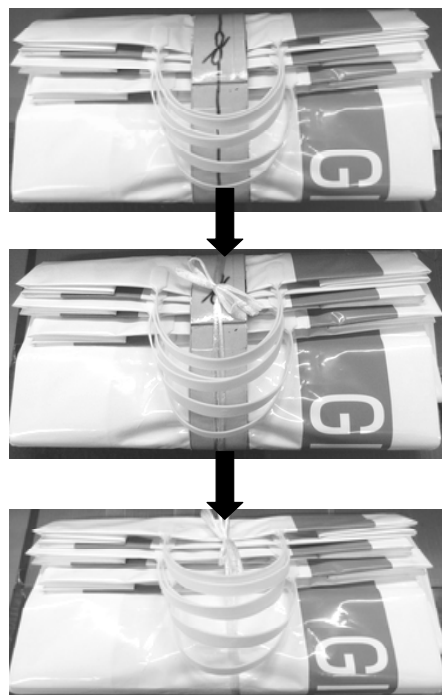
★10枚を重ねて丸め、ひもで縛る

10枚の袋を揃えながら丸めるということは、意外に難しいものです。間の袋がよれてしまったり、縛り方が緩すぎてもきつすぎてもいけません。そのため、右の写真のように、まず、紙製の帯をマジックテープで袋に巻き付け、その上からひもで縛り、最後に紙製の帯を外すという流れを作る事で、ひもは縛ることが出来るがその加減が難しいという方もやってみることが出来るようになりました。



また、10枚を数えることは常に正確でなくてはなりません。大体合っているでは足りないのです。そこで、左の写真のような、棒の表面に10個のへこみを作り、そこに完成した袋の取手をひっかけて10枚並べ、それをまとめることで数えが出来るという道具を用意しました。

こうした手順を経て、束ねた袋をダンボールに詰め込み納品をしています。



★さいごに

ひとつの工程の、一部が出来ても他が出来ないという時に、だから出来ないとなるのと、ちょっとした道具を使う事で出来たという違いは、ご本人にとって非常に大きいと思います。道具を使って、一人で、きれいに出来た時の利用者の方々の表情は見ていてとても嬉しいものがあります。冒頭にもお話しましたが、受注作業は失敗が許されず精度とスピードを要求されるものです。しかしその難しい活動を行っている時に、利用者のみなさんが生き生きとしていることは、表紙の写真を見て頂ければ分かると思います。それは、行っている作業が自分にとって意味のあるものであること、やってもやらなくても良いものではなく、やり切ることでねぎらいや感謝、報酬がある仕事であることを、みなさんが肌で感じているからではないでしょうか。

利用者の方々だけでなく、職員も常に真剣勝負のこの受注作業は、提供する側の、ここまで出来るはず、やってほしいという想いは利用者の方々に届くもので、届いた時のみなさんの本気は、本当に頼もしい限りです！！

庄司恵美子

“ 新任職員紹介 ”

こんにちは、わたげで3月から非常勤(水曜休み)の職員をさせていただいてます深澤良信と申します。AB型で、今度の6月で33才になります。東京・葛飾で生まれ 生後間もなく錦糸町に移り住み、社会人3ヶ月目まで実家にいました。大学では社会学を専攻し、卒業後2年間正社員で経理事務員をしており、それから今までフリーターでさまざまなアルバイトをしてきています。5年ほど前、ルームシェアをするのに探していた物件先という縁で、横須賀に移り住んできました。今はわたげから 徒歩20分くらいのところで、単身アパート世帯に植木鉢数個と金魚2匹(飼育歴1年弱)で、もうひとつ、100円セールで有名な某ドーナツ屋さんのアルバイト(2年と少し)もしながら生活してます。音楽が好きで、暇な時にマイペースで市民コーラス団体に参加したりしています。家庭教師アルバイトや公立小学校での補習の勉強指導なんかはしたことはありましたが、勤め先はこれまで株式会社や商店ばかりで、社会福祉法人で勤めさせていただくのは初めてです。ドーナツ屋さんと兼ねられそうなところを携帯電話のネットで探していたら、ハローワークでこちらの生活支援員パートを見つけました。自立支援という職務の難しさを肌で感じつつ、これまで学んできたことや社会経験が活かせたら、と思ってる社会人11年生です。先輩職員さんからお茶飲んでいいよ、とすすめていただいています。利用者さんのお顔とお名前(せめて名字)が全員わかるようになったら(あと数名のかたかと思ひます、すみません)業務中にちょっとフレイクさせてもらいます、どうぞよろしくお願ひします。



はじめまして。4月1日より入職しました新人の宮田です。新人と言っても若くはなく、システムエンジニア8年・主夫3年のキャリアと4人の子供を持つ立派なオッサンです。福祉に関しては全くキャリアが無く完全な素人なので、皆様から色々と学ばせていただきたく、御指導の程よろしくお願ひいたします。堅苦しい挨拶をと言われれば、この辺りで終わりにしたいところなのですが、今回は「こっとなあぶ」に掲載するので堅苦しくなく楽しい感じでと言われておりますので、趣味の話などでも少し続けさせていただきます。

最近はい可愛い子供たちと遊ぶ事に精一杯でまったくプレーできていませんが、私の趣味はビリヤードです。中学から高校卒業までの6年間でかなりやり込み、一時はプロを目指すか悩んだくらいでしたが、今ではポケット・的球・手球が一直線上にあっても普通に外せて誰とでも楽しく遊べるレベルになってしまいました。ですので、少しでもビリヤードに興味がある方はぜひ気軽にお誘い下さい！万障繰り合わせて御一緒させていただきます。また、ビリヤード以外でもサッカー・テニス・ボーリング・卓球などの球技全般、山登り(今の体力でできるかは不安)・キャンプなどの野外活動、ラーメンを筆頭に美味しいものを探す旅、アクション・パニック・ホラーなどの映画鑑賞などかなり広い範囲をカバーできる多趣味な人間です。それぞれの趣味に面白い過去があったりもしますので、興味を引かれた方は本人を捕まえて聞いてみて下さい。

最後になりましたが、オッサンの写真を見てもつまらないと思うので、子供4人をお見せしようと思ひます。写真の右から長男の樹(イツキ)、次女の真那(マナ)、長女の流那(ルナ)、次男の海翔(カイト)です。

なんだかんだと言っても、最近の一番の趣味は「子供と一緒に居る事」かもしれません。こんな私ですが、これから長くお世話になりたいと考えておりますので、ぜひともよろしくお願ひいたします。



『お～い、ごとーくーん！！』

横須賀市内は、現在桜の花が満開である。今年の桜には、特別いろんな思いを抱きながら見ている人が多いのではないのでしょうか。先の東北地方太平洋沖地震で被災された方々へ、心からお見舞い申し上げます。1ヶ月が経過した現在でも、まだ被害の全容が把握しきれていないということからも、いかに大きな災害であったかが感じられ、心がとても痛みます。日々刻々と伝えられるテレビや新聞の報道によって、被災した方々の状況は部分的に知ることができますが、これは、切り取られた一部にしか過ぎず、被災された方々が直面している困難には、私たちが知り得ないことがきっとたくさんあるのだと思います。最近になり、いろいろな人たちが、復興に向けて一步を踏み出したという報道が多くなって来たように感じるのですが、被災したすべての方たちに、同じ日本国民として、自分のできる応援を続けたいと思います。

新聞報道の中で、『自閉症の子わかって「周囲に遠慮 車中泊一週間」』という記事が朝日新聞に大きく取り上げられました。読まれた方も多いと思います。この自閉症のお子さんは、余震が起きると大騒ぎをすする、見知らぬ人に囲まれたり、サイレンや雷など大きな音を聞くと「どうしよう」と大声で泣き続ける等の行動が出てしまうのです。環境の変化や強い音の刺激が大の苦手だからです。津波によって家を流され住む場所がないという、不安と絶望の最中ですら、周囲に気遣いをし、限界まで車中泊を続けていたこの家族の心情を察すると、胸がつぶさまれるような思いです。車の中という慣れない場所での生活ではありませんが、理解のある家族に囲まれて、小4の男の子は、不安ながらもそれまで耐えることができたのだらうと思います。このような大きな災害時、家族に自閉症の方がいる場合には、避難所に入らずに、傷んだ家や車の中で過ごしたということは、これまでも伝えられています。自閉症の人たちが、自分らしく、安心して、豊かに暮らすことを支える法人として、私たちは、もう15年もの間、支援を続けてきているのですが、彼らが、この町に暮らす同じ住民として、一人の人間として、周囲の人たちに受け止めてもらうためにすべきことが、まだまだ、たくさんあるということを思い知らされた記事でした。

このような事から、何を感じ取り、私たちがどう行動をすべきかを考えることは極めて重要だと思います。当法人がある横須賀市では、市と施設が「災害時における障害者等の緊急受入れに関する協定書」を結んでいいます。二次避難所という考え方で、今回のように、避難所では落ち着いて避難できない状況の方たちが、避難できるような場所を確保しようという考え方です。協定は結んだものの実際には、まだすぐに運用できるほど、具体的なところまで至ってはいけません。現実には、どのような被災状況になり、建物や支援者がどのくらい機能するかは予測不能ではありますが、横須賀市と関係者が、二次避難所というイメージを共有しているところは重要であり、今後、可能な限り具体的な部分まで話を詰めて、緊急時に機能させれば、大きな支えとなると私は感じていきます。法人としても、今回の災害を踏まえて、課題として見えてきたこともあり、更なる備えを進めていきたいと思ひます。

最後に、被災されたすべての方々に、穏やかな日常が一日でも早く戻るように祈りたいと思います。

わたげ 施設長 後藤博行

たんぽぽ・ヨコスカ

ものどらっくまるちどらっく

No.46

このコーナーでは毎月「横須賀たんぽぽの郷」最新ニュースをトピックスでお伝えして行きます。

篁一誠先生 来所

12月17日（金）、2月18日（金）に、篁先生（PDDサポートセンターグリーンフォレスト）が来所され、ケース会議を行いました。

今回は「問題行動への対応」というテーマで講義をしていただきました。行動観察の基本として、事実を収集することがとても重要になります。先生は一人の人間を理解するために必要な期間として、最低でも『2年間』は細かい記録を取り、その上で「曜日」「時間」「天気」「場所」「生理的な側面」といった多様な視点から事実を検証するとお話されていました。

今回の講義をもとに、より記録を積み重ね、行動の背景を探り、支援をしていきたいと思います。

広瀬宏之先生 来所

2月4日（金）、広瀬先生（横須賀市療育相談センター）が来所されケース会議を行いました。わたげも開所から14年を迎え、利用者の方も平均30代半ばになり、生活習慣、姿勢の崩れなどの課題が発生してきました。広瀬先生には、作業時の姿勢や作業の方法など多岐に渡り、ご教授していただきました。

広瀬先生からのアドバイスを元に、支援をより充実したものにできるよう努めていきます。

ホームページ開設しました！！

今年度から新しく社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷のホームページができました。

ホームページアドレス yokosuka-tanpopo.or.jp です。

施設での活動・生活の様子、法人の紹介や後援会のご案内などに加え、本誌こっとなあっぷも掲載されています。今後、新規情報もドシドシアップしていきますので、是非ご覧ください！

わたげの送迎車が新しくなりました！！

神奈川県共同募金会より助成を受け、送迎車を購入しました。利用者の方も気持ち良く乗車し、通所しています。ありがとうございました。



たんぽぽの郷後援会のご案内

たんぽぽの郷後援会は、横須賀・三浦地区に在住の「自閉症」という障害を伴った人たちが、ともに生きる仲間として、地域で生活していくために必要な援助に取り組んでいる【社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷】の活動を支援する事を目的に組織されました。

▼ 年会費	個人会員 1口	3,000円
	団体会員 1口	10,000円

たんぽぽの郷後援会にご理解、ご協力くださる方は、下記の郵便為替口座をご利用ください。

郵便為替口座番号 00240-9-17474
郵便為替口座加入者名 たんぽぽの郷後援会

《2010 年度 決算報告》

たんぽぽの郷 後援会

昨年度、皆様からいただきました会費については、下記のと通りの収支でしたので、ご報告申し上げます。

(自 2010 年 4 月 1 日 ～ 至 2011 年 3 月 31 日)

〈収入の部〉

〈支出の部〉

項目	決算額	項目	決算額
前期繰越金	23,208	寄付金(わたげへ)	550,000
会費	528,000	次期繰越金	1,208
合計	551,208	合計	551,208

以上 会計 常田 ちよ子



2010 年度収支決算書及び関係帳簿・領収書を監査したところ、報告に相違ないことを証します。

会計監査 對比地 祐子



高橋 正子



皆様より会費等の決算につきましては上記の如くご報告申し上げます。

★★

編集後記～編集部～

この度の東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

改めて、『今』は 2 度と来ない、かけがえのないものであることを強く感じました。当法人を利用されている方々においては、その大切な時間の一部を、私たち職員に預けていただいていると思っています。こんなことが出来るようになった、来年はこんなことがしてみたいと、1 歩 2 歩と前に進んでいることが実感できる 1 年になるよう支援に努めていきたいと思ひます。 庄司

編集 社会福祉法人 横須賀たんぽぽの郷 〒239-0824 横須賀市西浦賀 3-13-21
TEL:046-844-0038 / FAX: 046-844-0036 E-mail: aaq40690@hkg.odn.ne.jp